

古典芸能研究センター伊藤正義文庫蔵「正徳四年謡名寄」(紹介と翻刻)

大山 範子

「正徳四年謡名寄」は初代センター長であつた故伊藤正義本学名誉教授の旧蔵本で、伊藤正義文庫として現在公開に向けて整理中の一本である。内容は、謡の曲名を列記し、各曲の舞台となる国名を付した名寄で、末尾には「正徳四年八月十三日」という年期も記す。冒頭が破損するなど、その初期の形態は厳密には推測できない部分もあるが、江戸中期以降広く流布した国別名寄(国ごとにまとめた謡名寄)の類に先行し、その形成過程を考える上で参考になる面が多いと思われるので、ここに紹介したい。

本名寄は、書状・下書き等の反古紙裏に記載されており、料紙は紙高約三一センチ、幅約四五・五センチ程度の楮紙で、十四枚を継いでいる。ただし、第一紙は幅が約二八センチで冒頭部が破損している(他にも寸法の違うものがあり、第九紙と第一〇紙は一五センチ程度、第一三紙が二八センチ程度)。第一紙と第二紙の継目には第二紙の文字の一部がはみ出すが一致せず、原形は不明。第二紙以降はあらかじめ紙を継いでいたらしく、文字が二枚

の紙にわたっている。後述のように、もしこの名寄が内外二百番の曲名を省略するつもりで書き始められたとするなら、現存第一紙が巻紙の第一紙で、題記を含む巻頭部分は欠損ということになるうか。

本名寄は、このような巻紙に、一行に四〜六曲で計一九五行・総数八四〇(重複を含む)の曲名を記したもので、その右上には一部の曲を除き小字で国名を付している。国名は、曲名書写時にすべてが記されたわけではないらしい。朱で丸印や合点が付されており、一部にはミセケチ・墨滅、貼り紙による訂正や、朱筆で加筆された箇所もある。これらの加筆・訂正も何度かにわたってのものようである。

内容については、多くの類書と同じく、貞享四年(一六八七)刊の『能之訓蒙図彙』卷三「謡目録国付」の流れをくむものと云えよう(本センター紀要第二号「古典芸能研究センター蔵 謡名寄二種」の解題参照)。ただし、前号で紹介したような国別名寄類とは趣を異にし、前掲「謡目録国付」に近い形態である。所収

曲をみていくと、同書よりも、同書を参考にしたとされる元禄十年（一六九七）刊『能之図式』巻六の「下掛謡之目録 国付」に非常に近い。周知のごとく、『能之図式』は、先行する『能之訓蒙図彙』を模したものとされるが、名寄の部分に関してはその形態は共通するものの所収曲はかなり違っている。^{注1}

本名寄は、同書が冒頭にあげる内外二百番はそのほとんどを欠くが、それ以降は、所収曲の大半が一致、掲載順序も似通う部分が多い。所収曲八四〇番に内外二百番のうち未掲載の一九五曲を加えると計一〇三五番となり、総数としてはほぼ同程度の曲数となる。同書と共通する曲目は全八三〇曲に上る。（同書の独自曲は内外二百番中の一九五+二六曲+重複三曲=二二四曲、本名寄の独自曲は四曲で、重複五曲（うち二曲は墨滅）計九曲）

本名寄は、もともと謡曲名を列記することが眼目であったのかもしれないが、掲載曲の順序などにはつきりとした方針が見いだせるわけではない。「〓小町」「〓狸々」「〓曾我」「〓物狂」など類似の曲名はまとめて記載するという程度の編集意識だが、これは同書にも共通して見られる要素である。一方で、「安犬」の安の字や、「阿林寺」「浄土寺閣」「二本尾」「箱三」「花香養」「裕子曾我」などのように、『能之図式』の誤りが踏襲されていると考えられる例のほか、両書のみに見られる曲や曲名表記も多くある。詳細については後掲の対照表をご参照願いたい。

ただその一方で、同書に掲載しない曲や空欄（国不明）としてある曲に国名を付していることもある。これらに関しては、番外の謡本を参照したようである。というのは、朱で施された〇印は、

曲名だけではなく、実際に謡本の存在する曲ばかりだからである。さらに云うならば、本名寄に加筆・訂正した人物（筆者であろう）が、謡についてある程度知識があったと思われる。それは、記載された曲名のうち、能の完曲ではなく一部であるクセだけの曲（曲斗り）や、狂言方に伝わる謡をも注を付しているからである。

加筆・訂正に関しては、さらに詳細に名寄類と比較することで、位置づけがより明確になるだろう。

最後に、この名寄の素性を明らかにする一助となる料紙表面について、ひとこと触れておこう。内容は文書や書類の下書き、商品（小皿・水引・染物）の包装紙などだが、第六紙表に「丹波国多喜郡寺内圓光寺」、第一三紙表の文書の下書に「拙僧」、第九紙表に「御年預」などの語が散見することから、出所は寺社関係と想像される。文書の下書きのうち唯一まとまった文章の見られる第一四紙は、以下の通り、仏像を注文をされた仏師の承諾書である。

（第一四紙表）

注文

一 毘沙門天再興 御長式尺式寸 髪染有

尊躰天衣其外不足之分繕古躰之通二仕

御銚天冠ふきかけちちち■こいめつきやすりすかし

御持物鉢木にて仕■

岩座ハ古キ通二仕出之不足繕

礼盤座れんじ ほり物仕惣有て金物打

御光八幅輪惣薄二仕火焰付

右之入用代銀三枚

遊分念入仕立指上ケ可申奉存候

以上

六月二日

大佛師

法橋民部

良頭

法菩提院様 御用

日付には年はないが、名寄の年が正徳四年であり、第九紙裏にも「正徳三年 癸巳年 十月日」と見えるので、正徳三年前後と考えてよからう。

この「大仏師法橋民部」は、明暦三年（一六五七）生まれの鎌倉仏師二十二代目であろう。彼は元禄十一年に絵師の英一蝶（当時の名乗りは多賀朝湖）とともに幕政を批判したとして捕えられ、伊豆八丈島に流された。この間の事情は、諸書がさまざまに伝えており、むしろそちらのほうで知られている。在島中は釈迦如来坐像など多くの仏像を作ったことで名を残している。宝永六年に赦免で江戸へ帰された後は、江戸城内紅葉山御用仏師となった人物であり、時期的には彼は本土へ戻って活動を再開している。この点はさらに補足調査したい。

（注1）法政大学能楽研究所編『鴻山文庫蔵能楽資料解題』中（一九九八年、野上記念法政大学能楽研究所）の「能之図式」の項、

該当部分に関しては次のように記す。

巻六の5ウ、14ウは、冒頭に「下掛謡之目録 国付」と題する謡曲の名寄せで、五段11行に計一〇三五番を列記し〔*引用者注、実際には一〇五五番〕、国付を下に注記するのを原則としているが、遠い曲が並ぶ後半には国付を欠く曲も多い。首部の二百番は装束付〔*引用者注、同書巻二（巻六に所収）と同じく元禄刊の下掛り両謡本の曲順のままで、続く部分は、最初の部分に貞享三年刊の三百番本や元禄二年刊の四百番本に含まれる類の比較的近い曲が多いものの、それを参照していることを明示する並べ方は採用されておらず、依拠資料の性質や配列の基準が把握しにくい。本書全体と関係の深い『能之訓蒙図彙』巻三の「謡目録 国付」（総曲数一三〇八番）の影響を受けているのは確かであるが、それには含まれない曲も多数収録されている。正体不明ではあるが、一千番を越える曲数を並べているだけに、無視し得ない資料であろう。

なお、『能之図式』は正徳五年に『舞楽秘曲大成』と名を変えて再版されている。

【書誌】

古典芸能研究センター伊藤正義文庫蔵「正徳四年謡名寄」一巻

装幀 反故紙十四枚（以上か）を継いで一巻に仕立てたもの。冒頭は破損。

題簽・内題・目録 ナシ

奥付 「正徳四年八月十三日書」

行数 現存部分で、曲名一九五行、奥付二行、計一九六行

【翻刻凡例】

・紙面の都合で、原本の一行分が翻刻では二行以上にわたるため、行頭に算用数字で原本の行を示した。

・原本の紙移りの部分に（「第一紙」）のように記した。

・○とくは朱筆で付された丸印と合点を、「**■**」は墨滅、「**||**」はミセケチ部分を示す。また加筆部分は網がけ（**■**）で示した。

□は難読。ふりかなはすべて右側に統一した。

・それぞれの曲の右上に付された国名は小字にし、国付のない場合は（ナシ）のように記した。なお、原本の「州」の字はすべて異体字（**𠂔**）。

【曲名一覧凡例】

・「正徳四年謡名寄」の所収曲をそれぞれ原本の行数と通し番号をつけて読みの五十音順に並べ替え、元禄十年刊『能之図式』巻六「下掛謡之目録 国付」の所収曲名（五十音順）と対照させた。なお、加筆・修正後のかたちは表中の曲名欄の次行に一字下げで「↓○○」のように記し、その該当曲名箇所には（ ）付きて曲名を記した。

・国名の「同」はすべて正式な表記に戻した。

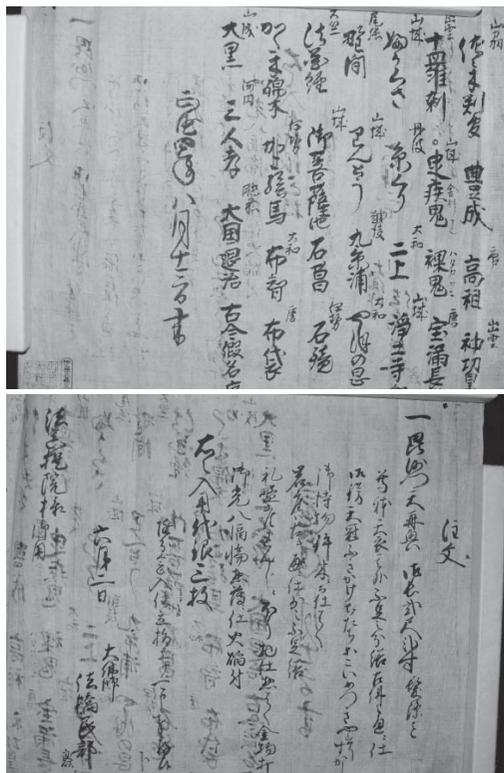
・備考欄：傍書は「**□**」で示す。ただし、ふりがなは省略。

・『能之図式』欄：記号は、正徳四年謡名寄の所収曲に対して、

◎は曲名・地名とも同じ、○は曲名のみ同じで国付は異なることを示す。×はナシ。曲名表記等が異なる場合は、（ ）に入れて示し、国付の異なる場合は同書の地名を記す。本書独自の所収

曲は曲名を記し、その部分を網がけ（**■**）で示した。さらに、

内外二百番のうち「正徳四年謡名寄」に見えない一九五曲名について、曲名をゴシックにした。



【翻刻】 古典芸能研究センター伊藤正義文庫蔵「正徳四年謡名寄」

〔第一紙冒頭欠損〕

- 001 □□○烏帽子折 □□○住吉詣 紀州○籠祇王 □□○鶏
- 龍田□□○松山鏡
- 002 和州○吉野 山城○松尾 アキ○嚴嶋 相州○江ノ嶋 山城○貴
- 船 聿(左に「筑」前○箱崎物狂
- 003 唐○涿漉^{タクロク} 出雲○初雪 山城○菅丞相 スルカ○富士山
- 奥州○真(左に朱で「実」方 山城○内府
- 004 唐\三蔵法師(右に朱で「大般若か」 筑前\一夜天神 肥
- 後 菊池 摂州○鼓瀧 山城○智入自然居士(左に「北山」)
- 005 山城 植田 同○愛宕空也 紀伊\吹上 山城\愛寿
- 摂州\上人洗
- 006 摂州○太子 大和 上宮太子 スルカ○池にへ 唐○正義
- 世^ト事(守) 山城○横山
- 007 紀州○玉津寫 相州○春近(右に朱で「治親共」) 山城○碁
- (「丹波物狂」、右に「小倉御幸」) 紀州○粉川寺
- 008 山城○花軍 山城 関原与市 筑前○玉取 唐○呂后
- 摂州○信貴山
- 009 泉州○行家 山城○泰山府君 同○陀羅尼落葉 同○岡崎
- 010 相州○清重 唐○伊陀天 大和○一来法師 奥州○千引
- ヲキ○隱岐院
- 011 和州○葛城天狗 常州○常陸帯 奥州○錦戸 摂州○蛙
- 近江○鐘引(右に「園城寺」)
- 012 唐○龍虎 越中○藤 サヌキ▲熊手判官 唐 巴園 近
- 江 非(右に「水」)尾山
- 013 唐○羊 山城○求塚 ハリマ 野口鞠雷 イセ○大(右に
- 「第」六天 筑前○香椎
- 014 長門○大木 越前○大蛇^{ヲロチ} 唐 野干 大和\柳 シナノ○
- さい川 近江○鳴不動
- 015 近江\比良 山城 斉藤五 大和○逆鉾 下野\関戸
- 山城○満中 讃州○當願暮頭
- 016 山城\家持 天竺\法花會 山城 吉水 紀伊\聿(左に
- 朱で「惟」盛 天竺○降魔 武州\飛雁 武州○露
- 017 日向○濱川 紀伊 瀧文学 同○濱ならし(左下に「○濱
- 土産」) 山城 橘 唐○政徳西王母 相州○虎送
- 018 甲斐○北^ク面(右下に「身延」) 同○身延山 丹後○祝言橋
- 立 天竺○河水 山城 龍頭太夫 唐○枕兒童
- 019 同○菊兒童 筑前○綾鼓 大和○吉野天人 長門\教経
- 阿波\経盛 大和○白主
- 020 相州 安犬^{ウイヌ}(*「安」は六十犬) 紀州 刈萱 石見\熊 唐○
- 合浦 山城○恋重荷
- 021 越前○東心坊 尾州○草薙 山城○空蟬 肥前○松浦鏡
- 奥州 千人伎
- 022 相州\和泉小次郎 □□(木^ク嶮) 伊勢○不断桜 奥州
- 廣基 江州 今生^{イマ}世(右に「御臺」)
- 023 肥前○松浦梅 阿波 桜間 近江 嶋廻(右に「曲斗」)

- 024 唐○佐国 相州 権原座論(右に「座敷論」)
美濃／兎塚 大和○飛鳥川(*曲名誤記を墨減、右傍記) 同○飛鳥寺 山城／鎌田 同○八幡
- 025 山城○猿(右に朱で「小」) 同／薄雪 スルカ／佐々木雲州○御崎 山城 童堂
- 026 相州○駒(右に「馬」) 乞^{コヒ}佐々木 奥州○長卿(右に「興」)寺 出羽○稻舟 日向○五筆 近江○惠源太
- 027 近江○野寺 和泉／熊野詣 山城 仲算 河内 守屋 唐○范蠡
- 028 摂州 河原太郎(右下に「高重」) 勢州／玉椿 伊勢 鈴鹿(右下に「巖洞」) 摂州○海世(右下に「水無瀬」) 丹波獅子
- 029 唐○連獅子 武州○武蔵野(右に朱で「露共」、左下に朱で「有所」) 山城 兼葉衛尉(右に「信連」) 尾州／法界寺
- 030 山城○墨染桜 尾州／笠寺 同○反魂香(右に朱で「ハ、ソノモリトモ」) 山城 鷺 同 菰卷(右に「橋弁慶前」)
- 031 奥州○宮城野 サツマ 菰(右に「岩」) 瀬 唐○馬融 奥州○千手寺 伊豆○真田
- 032 山城 花盗人(右に「保昌」) 尾州／園田 山州○~~山~~水(貼紙訂正「時雨」) ハリマ／素拝桜 山城 小林 (*「丹後」真名井原」挿入、次行末尾の右横) 「第二紙
- 033 摂州○山本小町(左に「曲斗」) 大和／高安小町 山城 清水小町 同 雲林院小町
- 034 山城／市原小町 スルカ／富士見小町 山城／夢見小町 摂州／玉津嶋小町
- 035 相州 切兼曾我 卍 スルカ○伏木曾我 相州／花見曾我 同／櫃切曾我
- 036 同／鬚切曾我 同／文削曾我 同／裕子曾我 同／幽灵曾我
- 037 同／和田酒盛 伊豆／十番切 加賀○敷地物狂 サツマ○鞠物狂(右に「鞠ト斗トモ」)
- 038 近江○笛物狂 紀伊／枕物狂 信州 更科物狂 遠江 由良物狂
- 039 山城 相坂物狂(右に朱で「東国下」) 同○小(右に「北」) 野物狂 同／山科物狂 同／鬼物狂
- 040 和州○吉野物狂 同／龍田物狂 摂州○松浦物狂 隠岐△ 隠岐物狂▽ (右に「前二有」)
- 041 (ナシ)／西行物狂 (ナシ)／きの物狂 紀州／禿物狂 (ナシ)／学文字物狂
- 042 筑紫 博多物狂(右に「曲舞り」) 筑前○箱崎物狂 伊勢 榊物狂 (ナシ)／丹波物狂
- 043 周防○室住 山城 宗貞 唐○~~太~~世(左に「施」) 太子 大和／妹背山 同／岩橋
- 044 山城○総角 大和○三輪^{ヲダマキ}小手卷(右に「○豊後小手卷モ有」) 備後○西寂 山城／岩神 摂州 津の梅(右下に「○鶯共」)
- 045 陸奥○鶴耨(右に「若」) 肥後／つるへ 山城○小倉御幸 大和 笠卒都婆 摂津○西宮

- 046 スルカ\祐経 唐 猩々後 同 二人猩々 同 寄合猩々
同 海中猩々
- 047 同 岩尾猩々 玉津嶋 同 三人猩々 同 三河猩々
同 一番猩々
- 048 同 九番猩々 同 七人猩々 同 九本猩々 同 大原
猩々
- 049 同 紅猩々 同 狒狒猩々 同 駒形猩々 (右に「三
河同事」) 同 秦埤猩々 (右に「寄合同事」)
- 050 日向 松竹 山城○横笛 (ナシ) 侍従重衡 大和 吉野
詣
- 051 紀州 高野詣 スルカ 富士詣 大和 小塩詣 常陸 小
栗 相州 箱根詣
- 052 下野 母衣 山城 守 撰津 玉津嶋龍神 肥前 亀浦嶋
龍神
- 053 丹後 龍神浦嶋 加賀 安宅龍神 (*下書墨減、貼紙訂正) 山城
御法 大和 吉野琴 「第三紙
- 054 唐 瓊在長良 山城○現在経政 (右に朱で「御室経政共」)
美濃 瓊在熊城 (ミセケチ朱、右に「○烏帽子折」) 山城○
現在頼政 (右に「ぬえ」)
- 055 山城 現在忠度 加賀 現在実盛 山城 現在菅丞相 サ
ヌキ 現在海人
- 056 スルカ 六代 大和 奈良六代 同 初瀬六代 山城 菴
六代
- 057 山州 一枚起請 (右に「兼實」) (*曲名誤記を墨減、貼紙訂正) 越後
磯田 奥州 信夫 越後 身賣 大和 吉野三位
- 058 撰津 奈須与市 越前 延年奈須 出雲○神有 (右に朱で「在
トモ」) 月 山城 神無月 日向 旧杵 ヌス)
- 059 奥州 あこやの松 (*曲名誤記を墨減、貼紙で訂正) 山城 夢一字
(ナシ) 道家心 大和 児塚 山城 融通鞍馬
- 060 山城○檜末狗 (右に「塚」) 大和 吉野天狗 但馬 大山天
狗 撰津 有馬天狗
- 061 (ナシ) 一夜天狗 大和 天狗倒シ 武蔵 亀井 大和 鬼
女谷行
- 062 尾州○内海 ウツミ 加州 実検実盛 大和 金剛山 大和 川蟬
ミ綱ナ
- 063 尾州 八釵 唐 武王 山城 阿弥陀ヶ峯 同 小倉山
- 064 紀州 鐘巻道成寺 大和 春日神子 筑前 袖漆
- 065 山城○花番 (右に「孝」) 養 肥前○井人神 (右に「内海同事」)
大和 吉野西行 撰津 花西行
- 066 天竺 法蔵比丘 筑前 鳶窟 山城 軒端草 同 山城
西行番 (右に「西」) 住
- 067 但馬 温泉寺 相州 鶴力岡 山城 月見 大和 空腹 (右
に「忠信」)
- 068 (ナシ) 千手院 サツマ 鬼海カ嶋 (*下に左行の「硫黄カ嶋」挿入の指示)
唐 后揃 (*下に左行の「美人揃」を挿入の指示) 撰津 長柄橋
- 069 河内 正中成 (右に「楠」) サツマ 硫黄カ嶋 (*右行に移動の
指示) 山城 美人揃 (*右行に移動の指示) (右に「舞車」) 常州

- 070 板敷山
勢州 宮川 同 廿鬼浦 (右に朱で「第六天」、右下に「前
二有」) 山城 梅乙女 常州 木刀
- 071 紀州 和哥天神 大和 吉野天神 隱岐 兼治時ハルトキ 和州
花槽ハナクラ
- 072 唐 天龍鬼神 山城 帚木 播磨 七草 (貼紙訂正「明布
止」、右に「○住吉詣ノ事歟トモ」) サツマ 卒都婆流シ
- 073 紀州 高野敦盛 摂津 形見敦盛 (右に「生田ナマタツキツキ歟」)
山城 籠尺八 相州 虎石 「第四紙」
- 074 唐 十四経 唐 脉論 (右に「仲遠」) 唐 丹溪 相州
九穴玉 肥前 近任
- 075 唐 七草 武蔵 若草 丹後 忘草 大和 若菜 肥前
玉嶋
- 076 肥前 玉嶋川 山城 玉川 同 玉水 上総 玉「磯」
を貼紙訂正) 崎 肥前 浦壁 (右に「下部」)
- 077 唐○兼山寺 (右に「豊干」) 唐 會盟 同 蘇武 同
阿佷留王 (ナシ) 村山
- 078 相州 鱗形 山城 瀧口 摂津 九品 山城 革袴 摂津
武文
- 079 丹後 酒天童子 (右に「幽霊」) 山州 白狐 相州 瀧ノ口
唐 楊家 唐 牟 (右に「王」) 代記
- 080 日本 王代記 摂津 布引瀧 紀伊 布引松 (ナシ) 石井
大和 千方 「第五紙」
- 081 国東 東園トモノ (右に「前二有」) 摂津 西国下 (ナシ) 鎌
弁慶 和泉 影山 筑前○濡衣
- 082 摂津 両 (右に「留」) 林寺 唐 八景 (ナシ) 近江八景
(ナシ) 相模八景
- 083 サヌキ 松山 出雲 伊呂波 山州 藤田 同 御輿振
大和 和国
- 084 相州○盲目沙汰 同○女沙汰 山城 清水沙汰 同 祇園
沙汰
- 085 大和 鑑重衡 美濃 雪頼朝 相州 頼朝 山州 義経
- 086 江州○義平 (右に朱で「悪源太トモ」、左に朱で「前二有」)
サツマ 為朝 加州 二千塚 山州 哥中山 同○木玉浮
舟
- 087 長門 先帝 河内○申木末 (右に「道明寺」) 山城 良弁
江州 慈覚
- 088 山城 仲算 相州○文学 伊豆 人形文学 紀州 文学瀧
詣
- 089 越後 相羽 (ナシ) 四季 (ナシ) 玉虫 播磨 書寫 (ナシ)
御衣
- 090 摂州カ 鏡池 江州 近江高砂 摂州 明智討 唐 孟宗
山城 男山
- 091 山城 承久 山城 承久退治 近江 粟津采女 山城 円
通寺
- 092 (ナシ) 舟立合 (ナシ) 弓八立合 伊勢 二人浦 山城 式
子内親王

- 093 山城 周防内侍 同 一本菊 スルカ 人穴 若狭 恋の
松原
- 094 撰津 宗盛 相州 北条 サツマ 嶋津 山城 風呂弁慶
- 095 山城 籠景清 近江 相坂盲 山城○思妻 奥州 末の松
山
- 096 撰津 神崎 シナノ○諏訪 イセ 見渡^ミリ 相州 磯屋(左
に朱で「磯の松か」)
- 097 (ナシ) つくし落葉 山城○京落葉 同 京妻 同 経書
堂
- 098 相模 あさいな (*二字分墨減和州○橋姫 山城 患(左に「宇
治」) 橋姫 撰津○水汲(右下に「地主」)
- 099 唐 巢父 相模 追掛朝比奈 出羽 忠備(右下に「前二
有」) 陸奥 貞任
- 100 同 衣川 唐 千丈嶽 (ナシ) 墨(*朱で「黒」の下に「土」を加筆)
- 101 染川 大和○和圃(右下に「前二有」)
- 101 大隅 正八幡 河内 金毘羅 (ナシ) 鬼身賣 唐 瑠璃鳥
- 102 大和 椎^チ(右に「○三山ノ事」) 唐 郭巨 (ナシ) ○範
- 頼 山城 篁
- 103 撰津 津守 信濃 富樫 越前 砥波 紀州 十柄^{ツツ}
- 104 相模 今和泉 山城 西岸居士 (ナシ) 桜之前 (ナシ) 紅
- 葉仙人
- 105 (ナシ) 蝙蝠^{カウモリ} イセ 星合 相州○星下 大和 星
- 106 (右上方に朱で「明静」) イセ 明星 イセ 斎宮 撰津
- 乙平 唐 蘇
- 107 壹岐 御湯立 スルカ 六本松 唐 育王山 同 清石山
- 108 三河 八橋 山城 戻橋 (ナシ) 髻塚^{モトハリ} 近江 伊吹^{イフキ}
「第六紙」
- 109 (ナシ) 姥竹 (ナシ) にせ菊 大和 躑躅岡 周防 平家桜
- 110 山城 よるへの水 同 醍醐 越後 磯嶋 撰津 兵庫築
- 嶋(*下書は墨減、貼紙訂正)
- 111 (ナシ) 和光 近江○~~木小~~ま^キま^マ巴(右に「ともへノ事也」)
- 撰津○~~草~~草^{クサ}敦盛(右に「敦盛ノ事也」) (ナシ) 貞盛
- 112 上野 浅沼 大和○~~葦~~葦^{アシ}葛城(右に「葛城ノ事也」) 山州 弓^ユ
- 継^キ 和州 高天
- 113 シナノ○伏屋(右に「木賊ノ事也」) 山城 後撰集(右に「二
柱」) 同 桜姫 肥前○~~佐~~佐^サ夜^ヤ姫(右に「松浦鏡ノ事」)
- 114 和州 行基 (ナシ) 有政 唐○~~始~~始^シ畢^ヘ(右に「咸陽宮」)
- 相州 安達静
- 115 和州 八重桜 山州 桜狩 山州 翁葦(右に「花軍」)
- スルカ 清見カ原
- 116 ヒゼン あそ山 (ナシ) 式嶋 スルカ 浮嶋 佐渡 佐渡カ
嶋
- 117 シナノ 雪ノ翁ナ 奥州 秀衡 江州 秀郷 山州 氏浦(右
に「小林ノ事」)
- 118 (ナシ) 逆罪 (ナシ) 流曲 唐○~~斐~~斐^ヒ埴^ヘ(右に「三笑ノ事」) (ナ
シ) そひぶし
- 119 (ナシ) 志水 ハリマ 二木か尾 常州 小山^{コヤマ} (ナシ) 箱山
おろし

- 120 大和○榊姫(右に「佐保山ノ事」) 肥前○榊浦姫(右に「前二有」、左に「鏡ノ事」) 山州 こし姫 大和○立田姫(右に「事也」)
- 121 越後 礪山 (ナシ) 恋鈴木 (ナシ) 遊行桜 山州○八幡帯(右に「弓八幡ノ事」)
- 122 大和 勸学院 相州 ゆつるき (ナシ) 村雲 (ナシ) 村方
- 123 山城 おほゆ木(右に「鼓ノ方ノ謡也」) 奥州 吉次 (ナシ) 光季 相州 公任
- 124 山城 清瀧(右に「時」) 田村 (ナシ) 兼出アヲヒトモエ(左に「太刀堀ノ事也」) (ナシ) 姫小松 山城 梅花
- 125 越後 有乳山 尾張 熱田 (ナシ) 水潜ククリ 加州 安達藤栄 「第七紙」
- 126 (ナシ) 瀧不動 江州○鳴不動 (ナシ) 七不動 (ナシ) 不動 国行
- 127 奥州 大熊 (ナシ) もゆ(右に「か」) もゆ(右に「う」)(右に「前二有」) (ナシ) 秩父チチ 讃州 壇浦
- 128 上野 飯沼 薩摩 高良山 奥州 高館 美濃 垂井
- 129 山城 馬争 (ナシ) 扇開 江州 神(右に「袖」) 惜ミ 山城 片輪車
- 130 唐 陶淵明 (ナシ) 忠光 (ナシ) 高光 (ナシ) 武利タケトシ
- 131 山城○兼冊忠度(右に「忠則ノ事也」) 相州 高綱 近江○泷惟圻(右に「菅相亟ノ事」) 唐 曲代王(右下に「前二有 王代記ノ事」)
- 132 (ナシ) 花三衣 (ナシ) 千代鶴ツル 山城 あやめ (ナシ) 二葉
- 133 山城 堀河夜討(右に「正尊ノ事」) 大和 御声か嶽 伊豆 箱根 山城 六道
- 134 同 竹取山 (ナシ) 深山 (ナシ) 池水 (ナシ) 礪崎
- 135 備前 戸板 紀州 高樓 相州 箱三 阿波 鳴戸
- 136 大和 吉野忠備(右に「前二有」) 同 吉野兼光 伊勢 七子 (ナシ) なかはる
- 137 唐 御惱楊貴妃(右に「皇帝ノ事」) 同 きんたんちん 同 燈臺鬼
- 138 (ナシ) 兼カミ(右に「楚作」) 桜 (ナシ) 渚桜 河内 楠樞(右に「前二有」) (ナシ) 鳴桜(*貼紙訂正)
- 139 備後 頼源左衛門 (ナシ) 菊光磨 山州 鞍馬兼帯
- 140 (ナシ) 朝忠 武藏 熊谷 紀州 平山 紀州 兼房 「第八紙」
- 141 大和 二本杖 伊勢 五十鈴 江州 三井ノ水 和州 二人墳
- 142 出羽 羽黒 信濃 浅間 (ナシ) 黒坂 伊豆 三嶋
- 143 (ナシ) 鞭文字 山州 駒競 (ナシ) 笈渡ウツ(右に「さがし」、その右に「刀ノ事也」) (ナシ) 稻苅
- 144 唐 焚燐 同 たんたん 同 老子 同 白大王
- 145 近江 ともへ松 奥州 姉はの松 (ナシ) 礪松 紀州 みるへの松原 「第九紙(第一〇紙にわたる)」
- 146 山州 籠破 同 鬚伐ヒゲキリ (ナシ) 足たて 相州○形鼎カタナ(右に「夜討曾我ノ事也」)

- 147 石州 中山 (ナシ) 浦山 (ナシ) ちか山 (ナシ) 足山
 148 大和 轟橋 (江州) 唐崎 (ナシ) 鷹嶋 (右に「前二有」) (ナシ)
 149 長門○卑兼 (右に「和布刈ノ事 前二有」) 撰津 名取 (左下に朱で「護法カ」) 山州 橋本 伯耆 大山
 150 唐 鶴西王母 越前 鶴村鴨 撰津 住吉雄 (右に「前二有」) (住吉) を朱でミセケチ後、曲名を練でミセケチ 三河 駕
 151 山州 佛御前 (左に朱で「仏原カ」、右には「前二有 キワウノ事也」) 山州 沙那王 (右に「くらま天狗ノ事」) 唐 費長房 天竺 婆藪天
 152 奥州 小車 江州 雪月花 (ナシ) 昔千手 (ナシ) 桜恋
 153 筑前 仲麿 (ナシ) 惟治^{コレル} 大和 良峯 相州 梶原
 154 和州 龍門寺 上野 利根河 山城 梅尾 和州 天野香久山
 155 (ナシ) 花家 (ナシ) 花加奇^{カツキ} (ナシ) 清光 (ナシ) 湯谷立合 若狭 若狭姫 雲州 耀姫 筑前 衣通姫 (ナシ) 姫鏡 (右に朱で「松浦鏡カ 松山鏡カ」)
 157 山州 常盤 三河 山中常盤 (ナシ) 惟政 撰津 次信
 158 (ナシ) 夫灵屋 天竺 普賢 大和 役行者 紀伊 行山伏
 159 肥前 和泉式部 相州 御前静 (ナシ) 河野 和州 飛驒工
 160 播磨 ほのくと明石浦 (三河○薬師 (ナシ) 北野 (右に「前二有」) (ナシ) 金山寺
 161 イセ 鏡御裳濯^{ミモス} 紀州 千里濱 山州 千本 丹州 水江
 162 (ナシ) たち柳 天竺 金菊 大和 龍田紅葉 大和 真菰^{マコモ}
 163 (ナシ) 横山ちうざん (ナシ) 盛永 山州 四位少将 (ナシ) 朝成^{トモナリ}
 164 山州 水無月祓 紀州 高野卷 撰津 初風 播州 師範
 165 (ナシ) 邂逅山 伊豆 石橋山 大和 伊駒山 駿河 三保ノ山
 166 撰津○須磨市木 (右に「松虫ノ事」) 山州 内野本兼職 (右に「小林ノ事 前二有」) 信濃 高梨 雲州 湊入
 167 越中 地獄廻リ 河内○津内連^ツ (右に「高安」) 紀伊 追掛鈴木 相州○御前 (*ミセケチの上から朱で丸囲み) 鈴木
 168 江州 さらし源氏 山州 薄紙夕顔 (右に「夕顔ノ事也」) 常州 鹿嶋 山城 御調
 169 (ナシ) 雪の陰 伊賀 たれその森 三河 矢矧^{ヤギ} 相州 小水^コ (右に「禪師曾我ノ事也」)
 170 (ナシ) しば舟 山城 侍従 (ナシ) 待宵小侍従 山城 小侍従
 171 讃岐 小嶋 (右に「熊手」) 判官 播州 人丸 近江 浄妙
 172 唐 平戸真覚 親衡^{チカヒ} (ナシ) 城太郎 (ナシ) 恒房 山州 矢倉忠度
 173 (ナシ) 篠栗 遠州 濱名 撰州 篠田 佐渡 佐渡御崎
 174 紀州 藤代峠 河内 天野 紀州 御池寺 出羽 黒川遊

- 年
- 175 唐 風俗哥 同 輪塔 美濃 高荷 駿河 富士巻狩
- 176 紀州 粉川鬼 山城 財くらべ (ナシ) 沾鷺ヌレサキ(左下に「狂言方二有」) (ナシ)とんゑんとう桜
- 177 天竺 撞鐘 同 七夕 (ナシ)袴着 唐 菊水
- 178 撰津 逆櫓 大和 鈴掛 (ナシ)宝塔 (ナシ)金花ノ門
- 179 和州 仏獵師 丹波 三井寺禪師 唐 重花 同 孟嘗君
「第一二紙
- 180 (ナシ)ふつとう山 肥後 あそ山 筑後 彦山 天竺 ま
れい山
- 181 山州 桐桐小林(右に「前二有」) 駿河 富士嵐 撰津 住
吉江上 同 住吉少将
- 182 河内 櫛(右に「前二有」) 唐○在世太子(*右に朱で「大
施太子 前ニアリ」) 同 文武 山城 庄司
陸奥 都嶋別 山城 八坂 近江 安土 唐 車(右に朱
で「虎」)溪
- 183 184 (ナシ)臙月 (ナシ)蟻卷 (ナシ)沖ノ鱸 (ナシ)二山鹿
大和 葵 (ナシ)青葉 山城 青柳 山城 柳
- 186 山城 平等院 同 龍鞍寺 (ナシ)せうとうほう 近江
醒井
- 187 近江 恋ノ中川 山城○敬訓(右に「内府」) 同 教訓状
豊後 小おだまさ
- 188 唐 大職冠 (ナシ)芝田討 (ナシ)ねこひ重衡 相州 け
ふり千手
- 189 山州 佐々木判官 (ナシ)豊成 唐 高祖 出雲 神功皇
后
- 190 出雲 十羅利 山城○毘殊鬼(右に「舍利ノ事也」) (ナシ)
裸鬼ハタカヲミ 唐 宝満長者
- 191 山城 ふかくさ 丹波 糸くり 大和 二上 山城 浄土
寺閣
- 192 尾張 野間 山城 りんとう 越後 九景浦 大和 やし
ほの岡
- 193 天竺 法華経 山城 御菩薩池 (ナシ)石菖 伊勢 石鏡
袋 (ナシ)かた木錦木 伊勢 小小絵馬 大和 布智 唐 布
- 194 山城 大黒 河内 三人孝 肥前 大国退治 (ナシ)古今
假名序
- 195 正徳四年八月十三日書
「第一四紙